

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2011年7月6日

「平成23年4～6月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－震災の影響で大幅悪化。7月以降は改善見込み－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成23年4～6月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所 協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成23年6月1～10日

回収状況 回収数 607 社（回収率 95.4%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

① 平成23年4～6月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－60.8となった。平成23年3月の前回調査（－41.0）から19.8ポイント悪化。前回調査は東日本大震災の影響を織り込んでいなかったため、単純な時系列比較はできないが、悪化幅はリーマン・ショック時（27.4ポイント悪化）よりも小幅にとどまった。

② 平成23年7～9月期の見通しについて

7～9月期にかけて、業況DIは11.0ポイント改善して－49.8となる。リーマン・ショック時のようにしばらく底を這うような状況ではなく、4～6月期を底に改善に向かう模様。

③ 主な業種別の動向

業種	業況DI (前期→当期→来期見込み)	動向
二輪部品製造 (54社)	－40.0→－ 81.5 →－64.8	業況DIは、41.5ポイント悪化し－81.5となった。7月以降は反動増を見込む。
自動車部品製造 (69社)	－33.3→－ 79.4 →－39.7	業況DIは、46.1ポイント悪化し－79.4となったが、6月上旬の調査時点では受注が回復してきている模様。
機械部品製造 (63社)	－46.0→－ 53.2 →－37.1	業況DIは、7.2ポイント悪化し－53.2となった。二輪車・自動車と比較すると震災の影響は小さかった。
楽器部品製造 (18社)	－63.2→－ 55.6 →－55.6	業況DIは2四半期連続で改善。震災の影響は小さかった。
繊維製造 (24社)	－20.8→－ 58.3 →－62.5	震災前まで業況DIは4四半期連続で改善していたが、大幅悪化となった。
卸売業 (87社)	－51.2→－ 57.0 →－62.8	業況DIは、震災前に行った3月調査では改善を見込んでいたが、震災の影響で悪化に転じた。
小売業 (69社)	－43.5→－ 52.9 →－51.5	震災の影響は取扱商品によって差がみられた。生活必需品の落ち込みは小さかった。
建設業 (72社)	－38.9→－ 66.7 →－53.5	業況DIは大幅悪化となったが、震災直後の資材入荷難、工期遅れは和らいでいる模様。
不動産業 (38社)	－34.2→－ 42.1 →－31.6	業況DIは小幅反落となった。来期の業況DIは震災前の水準を上回る。
飲食・宿泊・レジャー等 (16社)	－50.0→－ 87.5 →－75.0	震災直後のキャンセルや自粛ムードにより業況DIは調査開始以降、最も低い水準まで落ち込んだ。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間淵 TEL 053-452-1510